

附録の写真(その2)

PAS kara News の附録

附録の写真の2回目になります。今回はPAS kara Newsの附録とした写真のみでしたが、今回は前回漏れた附録分を含め、さらにある診療所や薬局に掲示させて頂いた写真や自分のInstagram等にアップしたものも含めてみました。

前回と同様に写真掲載の順序には年代や季節に関わりなく、簡単な説明を付けた形式にしています。

作者:足立 博一

2025 年 7 月 22 日

白木峰のニッコウキスゲ（2025 年 7 月）



白木峰は富山県富山市八尾町にある標高 1 5 9 2 m の山である。1 3 0 0 m のトイレのある駐車場までは車で入れるがその先はゲートが閉まっております車では入れないため、ゲート手前にある登山口から登山する。ゲートの先の林道を歩くことはできるが直登の登山道と較べるとつづら折りの林道を歩くため山頂までの時間は 3 0 分程度多くかかる。

登山口からの登山道は急登だが登りきると不思議な位に広い草原が広がっており、尾瀬のように木道が続いている。いわゆる風衝地帯で高い樹木がない。

そこからは富山平野はもちろん立山連峰、後立山連峰、槍岳から穂高連峰、御岳までを一望できる。

7 月中旬ごろはニッコウキスゲの群生地としても知られており、浮島のある池塘（ちとう）も点在している。

ただニッコウキスゲの花咲くこの時期は地元テレビニュースでも放送が流れるせいか、狭い駐車場の争奪戦が激しく混み合う。

我々の着いた時間は比較的遅かった（午前 9 時前）ため、早朝から来ていた人達の帰る車がチラホラあったため、登山口付近に車を 2 台分停められたのがラッキーだった。

燕岳のコマクサ（2008年8月）



燕岳（ツバクダケ）は長野県にある標高2763mの山である。

山頂付近は花崗岩の奇妙な岩が点在しており、遠くから見ると山頂付近の白い山体が特徴的な山でもある。また山頂付近は高山植物の女王と呼ばれるコマクサ（写真）が群生している。

かなり昔になってしまったが2008年に友人2人と共に2人用テントを担いで登った。山頂も雨の中だったがテント場も強い雨が止まず、やがてテントの中にも雨水が漏れてきた。

急遽、近くの燕山荘へ避難し素泊まりの手続きをして、持参した食料で自炊したのだった。

持って帰ってよかったのか分からないが幕営時にテントにぶら下げるように指示された幕営手形を持って帰ってしまった。

その後、元気なその友人は車中での前泊で燕岳の日帰り登山をしていた。私も誘われたが丁重にお断りした。

大学時代に私に初めてテント泊登山の魅力を教えてくれた同級生に案内されたのが柵池から後立山連峰に入り白馬岳、唐松岳、五竜岳を経て下山するものだった。しかし唐松岳のテント場で雨に遭遇、翌朝からも雨だった。結局テント内でまる一日酒

を飲みながらグダグダと話をしながら過ごしていると夕方頃にテント内に雨が漏れてきて…急遽、唐松山荘で一泊した。しかし翌朝も雨で予定を変更して、雨の八方尾根をひたすら下っていった。山での住居になるテントの雨漏り防止管理は非常に重要です。



市内電車(セントラム)と紫陽花 (2025 年 6 月)



富山の市内電車と紫陽花の組合わせの写真は6月になると地元の新聞やタウン誌に良くでてきます。

富山駅の南側地域には従来から路面の市内電車が走っており、富山駅の北側地域には路面と路線の市内電車が走っていましたが、北陸新幹線開通に合わせて南北の市内電車がつながりました。

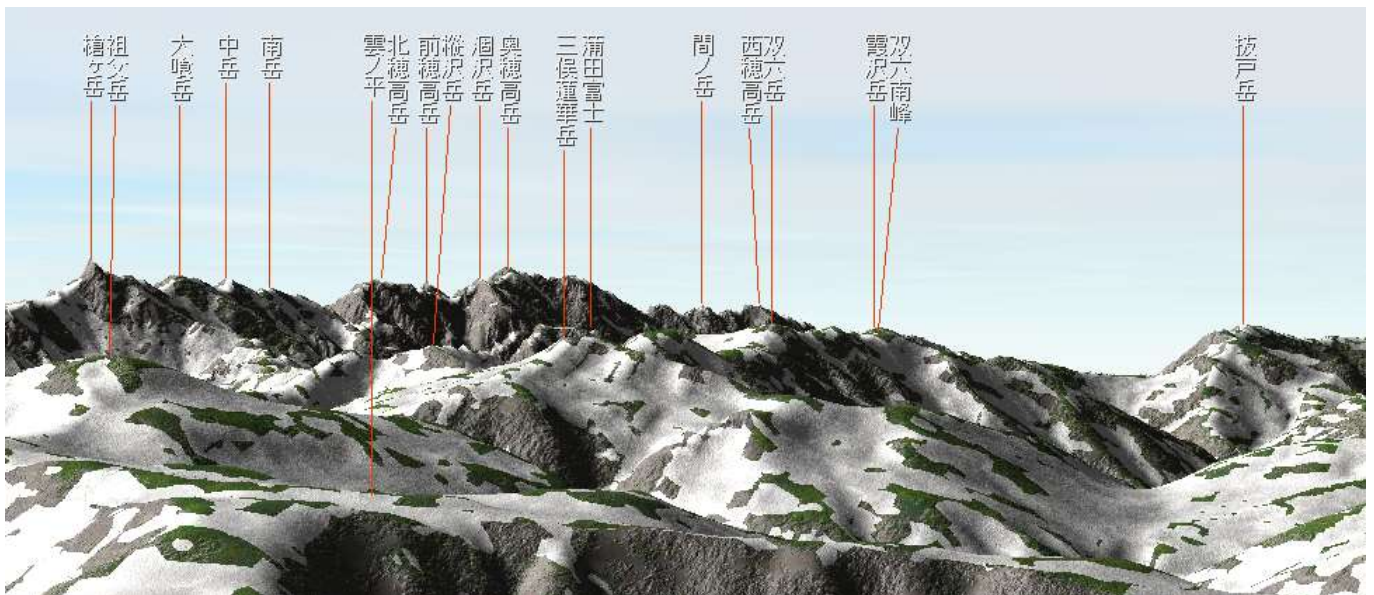
クラシックタイプ（いかにも路面市内電車らしいタイプ）、LRTの2両編成のポートルムとセントラム（色違いなだけ）、さらに1両が短い3両編成のサントラムなどがあります。

富山に来られた際にはそれらの市内電車も楽しんでください。

しかし、先日この市内電車に乗っていると、向かいに座っていた県外在住の中年女性が「座りにくい電車ね」と声をかけてきました。

そうなんです。座席の狭さが欠点なのです。

薬師岳山頂から山座同定（富山県） 2018 年 6 月



薬師岳は標高 2 9 2 6 m の山で山頂からの風景は立山・剱岳はもちろん後立山連峰から槍ヶ岳・穂高連峰まで見えます。そこで必要なのがあの山は何という山かという山座同定です。最近ではスマホのアプリもありますが、私がよく利用するのはいったん写真に撮って家に帰ってから調べるという一手間はあるのですが、ほぼ正確な画像として表示してくれ山座同定しやすいパソコン用ソフトの「カシ米尔 3 D」です。

上の写真が実際に薬師岳山頂で撮影した槍ヶ岳・穂高連峰方向の写真です。それをカシ米尔 3 D の中の地図上の薬師岳山頂にカメラを設置して撮影したものが下の図になります。

撮影する高さ、撮影対象までの距離、倍率なども設定できるので山好きの人にとっては結構に面白いソフトになります。

宗猷寺（岐阜県高山市内） 2025 年 7 月



岐阜県北部の飛騨高山は観光地で有名ですが、観光客とくに外人客が多く集まる古い町並みから、さらに東方向に歩みを進めると東山の寺院群があります。

ここまで来ると外国人も含めた観光客も一組くらいに激減します。その中の一つが臨済宗の宗猷寺（そうゆうじ）です。

東山の寺院群の中で最も大きな印象を受けたのですが、山門の柱の一角に本人かどうか分かりませんが、「僕ドラえもん」の声優で有名な大山のぶ代の千社札がありました。

北陸鉄道浅野川線アカシアの音楽 (2025 年 6 月)



北陸鉄道（北鉄）浅野川線は金沢に住んでいた時期からその存在を知っていたものの乗ったことがなかったが、今回北鉄金沢駅から初めて乗ってみた。終着駅の内灘までは17分という短い区間だが朝夕を除き、1時間に2本の運行だ。経緯は分からないが、終着駅の一つ手前の駅の粟ヶ崎駅から内灘駅までの間に松任谷由実のアカシアのメロディーが流れる。

♪銀の花が散ってる風と陽ざしの中で…♪

おまけに内灘駅の直ぐ近くにアカシアという名の交差点がありアカシアという町がある。

勝興寺の巨大ろうそく (2025 年 6 月)



富山県高岡市伏木にある浄土真宗本願寺派のお寺。
本堂内には巨大なろうそくがご本尊様の手前両側にある。

本堂は国宝に指定されており、本堂を含めて1998年から2021年までの23年間にわたる大修理が行なわれた寺でもある。

屋敷林 (2025 年 6 月)

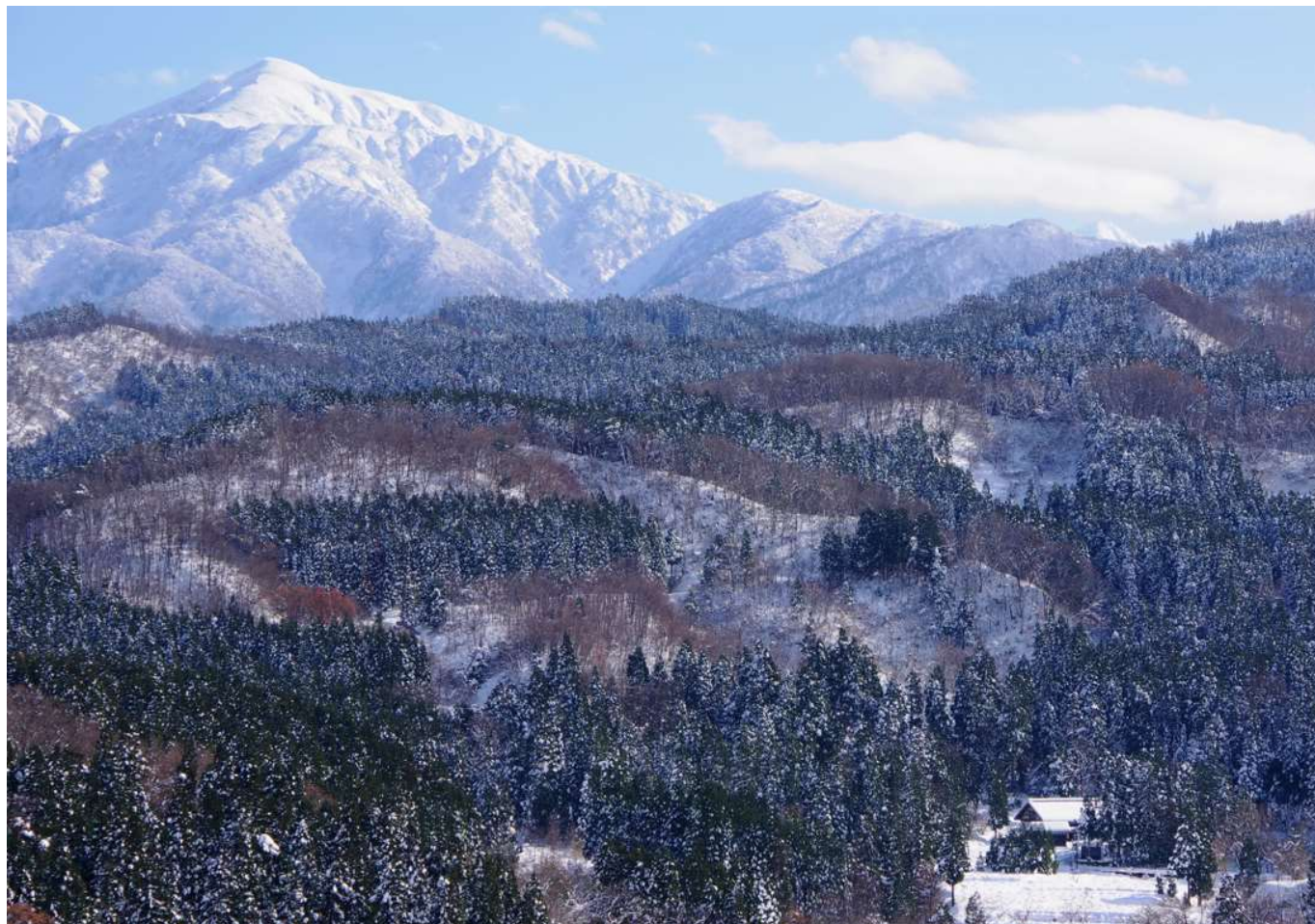


富山県の砺波平野には散居村と呼ばれる農家が点在しています。家の周りは屋敷林が植えられており、冬は季節風や吹雪から家や暮らしを守り、夏は暑い日差しから守ってくれていました。

落ち葉や枝木は炊事などの燃料として利用されてきたそうです。この写真も散居村の屋敷林の一例ですが「カイニヨ」とも呼ばれています。

個人的にはこのような巨大化した庭木を将来的にどのように管理するのか？気になるところです。

初冬を歩く (2017 年 12 月)



12月のある晴れた日。富山県にある大日岳（左奥）は目にまぶしいほど白く輝き、針葉樹に囲まれた麓には古民家（右下）がたたずんでいた。

富山県上市町にある城ヶ平山山頂からの風景。

※この古民家はアニメ映画「おおかみこどもの雨と雪」の舞台モデルとなった古民家でもある。

6月のチューリップ(2025年6月)



富山県砺波市はチューリップで有名です。

他にもチューリップの有名な都道府県があると思いますが、砺波市にあるチューリップ四季彩館は1年中チューリップの花を咲かせている世界で唯一の場所（パンフレットでは）だそうです。当然ですが温度管理をしながらの技術になります。

普通は4月末～5月上旬がチューリップの花盛りとなるのですが6月上旬でも写真の通りです。

その四季彩館をでる時「ありがとうございました」と係の中年のおばはんの声に声をかけたのですが、彼女は下を向いて作業をしながらテンション低めに「はい」と言っただけでした。

せめて「ありがとうございました」だろうが！と思いながら雨降る外に出たのでした。

私は「ありがとう」だけでよかったのか、黙って出れば良かったのかと色々あとで考える始末。しかし、あくまでも結果論だし、施設への感謝の気持ちとしてやはり「ありがとうございました」が正解だと思いました。

読むくすり箱

第1号

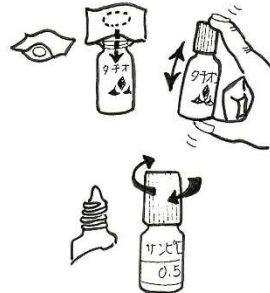
平成2年10月
富山県病院薬剤師会
D I 委員会

正しい目薬の使い方

目薬をもらったら？

☆錠剤や粉ぐすりのびんがついているものは、使用するとき溶かすようになっています。溶かし方は説明書をよく読んで、錠剤や液をこぼさないよう、またそれらに直接手を触れないように溶かしましょう。

☆目薬のびんの先の穴があいていない容器があります。これはふたを右に回して強くしめると、穴があくように、ふたにしかけがしてあります。



目薬は何滴を何回？

☆1回1～2滴で十分です。

☆回数は目薬によって異なります。指示された通りに正しく使用しましょう。

☆点眼と同時にティシュペーパーでふき取らずに、しばらくは目をつむり、上を向いて十分に液が目にしみわたるようにしましょう。

☆眼軟膏は軟膏が目に入ったら、目を閉じてその上を軽く2～3回マッサージして軟膏を全体にのばして下さい。はじめは少しかすみがかかったようになりますが、しばらくすると治ります。

2種類以上の目薬をつけるときは？

☆どれから使用してもかまいませんが、はじめの目薬をつけて5分以上たってから、次の目薬をつけるようにして下さい。

☆眼軟膏は一番最後につけるようにして下さい。

使用後は？

☆橙色や褐色のビニール袋は目薬の成分が変化しないように光線をさえるためのものです。使用するとき以外は袋にいれて、冷暗所に保存するようにしましょう。

☆使用時に錠剤や粉末を溶かしてつくった目薬は、正しい保存方法を守り、使用期限が過ぎたら思い切って捨てましょう。

終活もどきで所持品などを整理していると昔のものがいろいろ見つかる。

これはかつて私が富山県病院薬剤師会の理事をし、同会のD I 委員会の委員長も兼任していた時に発行したニュース。

当時、富山県内では独自の患者向けニュースを出していた病院は少なかった。かく言う医薬大病院薬剤部でも出していなかったの、県内の病院薬剤師で構成された数名のD I 委員会の委員で原則月1回発行を目標に発行することにし、各病院薬剤部や薬剤科に1枚ずつ配布し各病院の都合で内容を変えても良いことにした。

読むくすり箱の名称はD I 委員会内で検討したが、結局私の案がそのままニュース名になった。私の手元には37号までのストックがあるが、私が委員長を辞してから数年間は継続していたと記憶している。

ポプラ並木と桜(2025 年 5 月)



北海道札幌市手稲にある前田森林公園にて。
奥から手前に水の流れのある人工の浅い川の両側にポプラ並木を植生し、その右岸奥に桜を配置した公園である。

今年の5月GWの札幌市の桜は丁度満開の時期で、桜の下ではビニールシートを引き、お弁当を食べている家族がいた。

カイケイジオウ（富山大学薬学部附属薬用植物園 2025 年 5 月）



先日、富山市内にある呉羽丘陵を散策していた時の話。高速道路が横切る場所が散策路の最終地点になるのだが、その向かいには富山大学の杉谷キャンパス（医療系学部、附属病院など）がある。この日はその薬草園が平日の日中は無料開放と聞いていたのでそこまで足を延ばしてみた。在職時に1度だけ来た事があったが記憶が全く無いと同然だったが、意外に広いのにはビックリした。花を咲かせている植物や葉だけのものなど様々だった。ただそれぞれ説明板があったので現植物名、生薬名、簡単な薬効は分かった。かつて同大学病院で漢方調剤をしていた時は小口切りか刻んだ生薬の製品しか知らなかったため、元の植物がどのような形なのかの知識は非常に少なかった。大学病院時代から生薬名と起源、部位、薬効などを一覧表にしてメモっていたが、その後エクセルに移し替えて個人的にDropboxでも見られるようにしていた。その一覧表をスマホで見ながら観察をしていると一人の高齢の職員さんが「何かお探しですか？」と聞いてきたので「あえて言うならば地黄です」と答える。今まで見てきた中ではなかったからなのだが、その人はもう一人の若い女性に確認して地黄のある所を教えてくれた。そこにはアカヤジオウとカイケイジオウの2種類が植えられていたが前者は数が少なく、後者の花が結構に咲いていたので今回の添付写真となった。

私が大学病院時代に漢方調剤室にいる時、当時の和漢診療部教授の寺澤先生から「薬草園に生地黄（ショウジオウ）を頼んでおいたから、足立君取りに行つて調剤してほしい」と突然電話があったので初めて薬草園に入り、準備されていた白い生地黄を受け取り調剤室に戻り、煎じ薬用に包丁で適量を切り煎じた逸話をその職員さんに話したところ、当時その職員さんも寺澤先生から生地黄を用意して欲しいと連絡を受けたそうでアカヤジオウが良いのかカイケイジオウが良いのかを質問したそうですが返事はどちらでも良いだったとのこと。彼としてはどちらか指定して欲しかったような雰囲気だったが当時私が生地黄を取りに行った際に相手をしてくれた男性が目の前にいる職員さんだったとはビックリしたという話です。彼は私より7つ年上ですが未だ技官として働いているそうです。

平地にある白樺林（2025 年 5 月）



北海道の札幌市内にある手稲地区の前田森林公園内にある新緑前の白樺（シラカバ）林。富山の高地ではシラカバの変種のダケカンバを良く見るがシラカバは中部地方の高地の山岳地帯でしか見ない。

それが北海道では平地の公園で見られるのでビックリだった。
以前、札幌市内で富山では高山でしか見られないナナカマドが普通に街路樹で植生されていたのにもビックリだった。

やはり北海道は寒い地域なのだと思いますが、この先の温暖化でどのような植生変化が起こるのかが心配だ。

羊蹄山の噴火口（2022 年 8 月末）



羊蹄山（ヨウテイザン）は北海道後志（シリベシ）地方にある標高 1 8 9 8 m の活火山である。形が富士山に似ていることから蝦夷（エゾ）富士とも呼ばれる。

山頂は噴火口が形成されており、その 1 周を巡れる登山道がある。1 周は約 2 km で、火口底までの深さは 2 0 0 m とされているが、底へ下る一般用の道は私が見た限りではなく、雨や雪解けで貯まるのではないかとと思われる水（池）も不思議なことに無かった。

複数の登山道があり、私は麓にキャンプ場がある真狩（マツカリ）コースから登った。前日から山用の小さな TENT を張って翌朝から登る準備をした。

平日であったせいか周囲には広いキャンプ場には大きめの TENT が数張りしかなく、高齢の男性が 1 人で思い思いにソロキャンプ時間を楽しんでいるようだった。そのような趣味も良いかなと思った風景だった。

翌朝、私は薄暗い中を登り始めた。

私の記録によると噴火口まで登り 3 時間 5 3 分、噴火口 1 周 1 時間 5 2 分、噴火口から登山口まで下り 2 時間 5 4 分とある。

むろん休憩時間を入れてではあるが結構に登り甲斐のある山だった。

北海道にはアイヌ語に由来する名前がよく残っているが、羊蹄山の別名が真狩岳で、アイヌ語のマク・カリ・ベツ（山の・後を回る・川）に由来している。

また日本書紀にもこの周辺の名称が記載されていることから西暦 7 2 0 年までには日本民族とアイヌ民族の抗争があったようだ。

カモメはカモメ（2018 年 1 月）



ここは私の写真では何度もでてくる富山市の環水公園の一番富山駅側にある親水公園とも呼ばれる一角。

そこには円形の水場があるのですがその縁にたたずむ 1 羽のカモメです。望遠レンズを持参しなかったためトリミングで大きくなるように誤魔化したのでボヤけたイメージになってしまいました。

1 月 2 日の写真で、この年は雪がまったくありませんが 2 週間後には、がっつりと積雪があった年でもありました。

花水木と八重桜（2025 年 4 月下旬）



この写真の右側には富山県立図書館があり、左側には県道 207 号線が走っている。
4 月の初めに、この県道を北から南方向に車を走らせると図書館を背景にして立派なソメイヨシノの桜の花が咲いているのが見えてくる。

この県道 207 号線は「後何年この桜の風景が見られるだろうか」と思いながら車を走らせた私の通勤路でもあった。

今では自転車で良く通るようになった道だが、ソメイヨシノの花も終わり 4 月の下旬にもなると花水木と八重桜で花盛りになるとは知らなかった。

※あくまでも私の経験則なのですが、バックを北側にすると空の色がより深い青色になります。何故なのでしょう？

めざせ！冬季オリンピック（2018年1月）



この冬も雪が少なかったが、いきなり積もる日もあった。

そんな1日、近くにある運動公園の山になった場所が格好の雪ソリの遊び場になった。
上手い！と思った後、一緒に滑っていた友達と共に転んでしまっていた。

（顔が映る写真は今時個人情報の兼ね合いが生じるが、すでに7年も経過し顔つきも変わっていることでしょう。極めて個人的写真として許してもらいましょう）

青空映す長池（2018 年 10 月）



雪のように白い山肌と空を映し出す青い池。
ここは登山道から外れた位置にあり、かつ何故か知らないが立ち入り禁止になっている池で長池という。

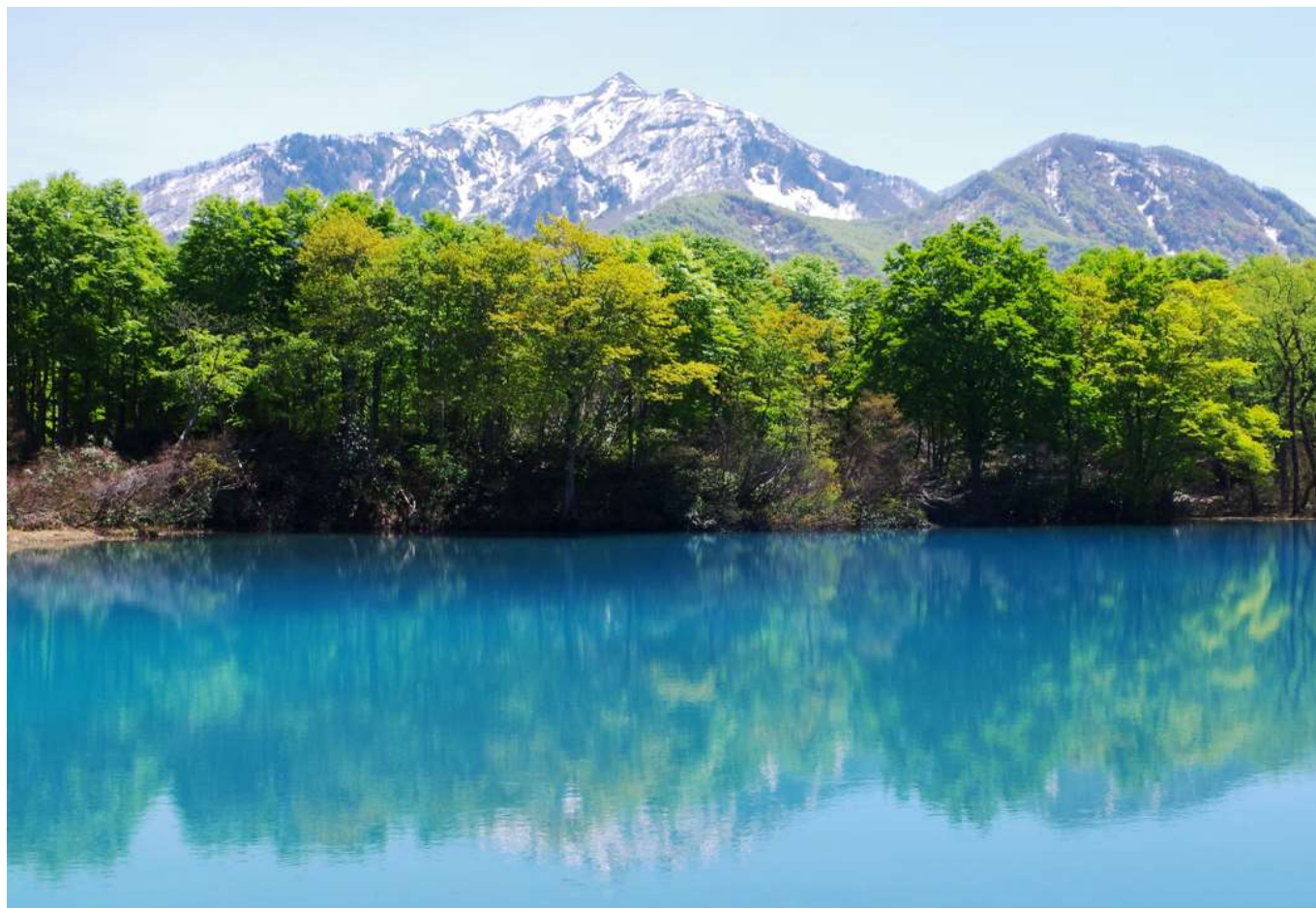
白馬岳の山麓にある富山県と長野県と新潟県の境にある三国境付近から撮影。

春を待つ白池（2017 年 4 月）



新潟県糸魚川市にある戸倉山中腹の白池はまだ池面の半分が氷結状態。
それでも半分溶けた池面に正面の雨飾山（標高 1 9 6 3 m）を映しだしていた。
この季節、白池までの道も雪に覆われているため、車は途中でデポしてスノーポン（カンジキとスノーシューの中間のようなもの）を登山靴に装着して歩く。

初夏へと向う白池（2014 年 5 月）



前ページの3年前の5月になる。白池には特有のエメラルドグリーンが戻ってきて、池の周りの新緑と残雪の雨飾山を映し出していた。

北薬師岳と劔岳と立山と（2014 年 9 月）



薬師岳山荘に泊まり、朝食を済ませてから薬師岳山頂を経由して北薬師岳まで足を伸ばす。薬師岳山頂から北薬師岳までは薬師岳（2926m）の南陵と較べると格段に険しいのは岩肌を見ても分かるだろう。

登山道は映ってはいないが左側にあり、小さく人が映っているのが北薬師岳（2900m）の山頂だ。

右半分の遠景中央付近が劔岳（2999m）、劔岳から尾根続きのように右に行き、三角形の山が立山「雄山」（2992m）になる。山の形は見る方向によってかなり違って見えるが分かるかと思う。

中景の右の平たい部分が五色ガ原で、この二年後に立山室堂から五色ガ原経由で薬師岳に続く縦走路を歩いた。

薬師岳遠望（2018 年 9 月末）



秋色が深まりつつある岐阜県神岡町にある秋の天蓋山（1527m）の山頂から。

この年の夏に人生で初めて薬師岳（2926m：左奥の山）に登ったという女性が懐かしそうに遠くの薬師岳を見つめていた。

深紅のチングルマ（2018 年 10 月）



夏場は可愛い白い花を咲かせてくれるチングルマ。やがて実とは見えないようなフサフサとしたうすいピンク色の実となる。

この写真は長野県の白馬大池周辺で見たチングルマの紅葉風景。実はしおれた感じになっていたが、深紅の葉が印象的だった。

ちなみに、チングルマは漢字では「稚児車」と書き、これでも草ではなくバラ科の低木である。

魚津の桜まつり（2014 年 4 月）



富山県の魚津市には日本最古の水族館があるのですが、その周辺にある桜が咲き誇る公園で的一幕。左方向には三味線弾き、太鼓叩き、謳いの人達もいましたが略しました。

一見したところ中年以上のご婦人方の踊りでした。

出雲大社のウサギ (2018 年 3 月)



出雲大社の境内には可愛い白いウサギ像がたくさんある。

しかし、こいつはガタイも大きく、ちょっと目が不気味な印象も…

出雲大社は大国主命と縁が深く、また彼が助けたという稲葉の素兎(いなばのしろうさぎ)の逸話もあり、実際には白色ではなかったとされるが音の響きが同じなので白兎が定番となっている。

古代、日本海側一帯で権力を誇っていた出雲の王権が大和王権に屈したのが「国譲り神話」の基になっているとされている。

ちなみに私がよく散策している富山市の呉羽丘陵には多くの古墳があり、古墳の道という場所を歩くと四隅突出型方墳の説明板の下に「出雲王権の影響」とあり、前方後円墳の説明板の下には「大和王権の影響」とある。北陸地方は日本海側になるので最初はおそらく出雲王権の支配下にあり、出雲王権が大和朝廷に屈してからは北陸地方の有力者達の墓は前方後円墳になっていったと思われる。

竹葉の影（2018 年 12 月）



12月のある晴れた日に富山市にある呉羽丘陵の竹林を歩いていた。
ふと見上げた先に竹の幹に映る竹葉の陰影があった。

ちなみに竹葉（ちくよう）は漢方医学では、熱による症状を和らげる作用（清熱作用）や利尿作用があるとされています。

鏡のごとく（2019年8月）



山仲間の友人と二人で車中の前泊から早朝に新穂高温泉を出発する。約4時間半の道を登り詰めると槍ヶ岳から穂高連峰を映し出す鏡平にある鏡池にたどりつく。池に反射する空の色のほうが濃いのは何故だろう？

ここには鏡平山荘があり登山者が休憩するにはとても良い場所である。もちろんそこで宿泊する登山者もいる。

そこで私は数十年ぶりに鏡平山荘で販売しているかき氷（右図）を食べた。若い頃は平気でかき氷をパクパクと食べていたが、この日は直ぐに頭が痛くなった。冷たさで脳の血管が収縮し片頭痛のような痛みを感じさせたのかもしれない。

時間をかけて食べた分、ゆっくりと休憩ができ、その後さらに先にある双六山荘までたどりつくことが出来た。

次の日は笠ヶ岳を巡り新穂高温泉まで下ったが、途中から雨の中を笠ヶ岳からの長い長い笠新道を下ることになってしまった。



安土城跡の佛足石（2016 年 3 月）



この年の春は戦国時代の浅井氏の小谷城跡のある小谷山、織田信長の居城のあった安土山、さらに信長が薬草を植えるように指示したとされる伊吹山への登山と滋賀県長浜付近にある山にこだわって登っていました。

安土城があった安土山は標高 199m、その周辺は有料の観光地になっています。写真は隣にある説明板によると後年崩れた石垣を調査していた際に発見された佛足石。お釈迦様の足跡を表現されたもので古代インドでは崇拝の対象とされ、日本では奈良の薬師寺にあるものが日本最古とされています。

信長はこのような信仰対象のものを石垣に使ったり、墓石や石仏を石段の一部(これも安土城跡に残っています)に使ったりしたという神仏を恐れぬ話は聞いていましたが、実際に見るとそれが事実だったと実感できました。

丹頂鶴（2008年6月）



2008年前後の年は北海道を旅することが多かった。それも北海道には梅雨が無いと思っていたので6月を狙っての旅だった。

しかし、結構に雨に出会う日が多かった気がする。後に聞いたところによると蝦夷梅雨という言葉もあるようで意外と雨になる日も多いとのこと。

この写真は北海道の標津（しべつ）町にある野付半島にいた丹頂鶴。野付半島は砂嘴で先端部は広いが中間部は非常に狭い。この日も小雨が降っていた。

野付半島の先端部では右のような「はまなす号」と呼ばれる馬車で周辺を案内してくれていた（現在ではこの馬も死んでしまい、代わりにトラクターで引っ張っているそうだ）。

足元には本州では高地に咲くニッコウキスゲだと思えるのだが北海道ではノカンゾウと呼ばれる黄色い花が平地に咲いていた。



バー・ナルシス（1950年代）-開店案内状-

お勤め帰りの 憩いのひととき... あなたの憩いをお待ちしています

ただひとり最も隅の椅子により
タリヤを前によせ飲めるも（豚木）

チップの要らぬ実質的なバー
全国カクテルコンクール優賞カップ受賞のバー
高級舶来洋酒もあり

ストレート 50円
ハイボール 70円
シンフイズ 150円

午後五時より終電車のお客まで営業
第二・四日曜日は定休

さとや菓子食料品店の隣です

阪急豊中駅西出口
電話 豊中② 5422

バー ナルシス
Bar Narcisse

戦前まで母方の祖父の実家は兵庫県の丹波地方にあり、祖父はその地主の長男だったが経緯を忘れてしまったが、いつしか学校の美術の先生をし、その後大阪府の阪急電車豊中駅に隣接した場所でお菓子屋とバーを経営しだした。それらの隣り合う店舗と阪急電車の鉄路の間に店舗付き住居があった。その住居の線路側は電車がカーブを通る際に発生させる細かい鉄による鉄さびで茶色く変色していた。小さな子供にとってはお菓子屋も魅力的だったが、マダムと呼ばれていた雇われマダムが来る前の客の来ない時間帯の独特の匂いのある静かなバーに忍び込み、大人の雰囲気にも心を躍らせた。今では当時の駅舎や祖父母が暮らしていた店舗付き住居も新しい高架の豊中駅に飲み込まれるようにして無くなってしまった。

ビックリしたよね（2023 年 8 月）



周辺がまだ暗い未明の富山県にある奥大日岳に向う途中の登山道。
正確に言うならば劔御前小屋から室堂乗越に向うルートと雷鳥沢テント場からの登山道が合流する地点までの途中の岩陰で寝ていた雷鳥君。

私の突然のヘッドライトで何が起きたか分からなかった様子。私も何が動いたのか一瞬分からなかったが直ぐにカメラを取り出しストロボ使って1枚撮影する。さらにビックリしたのか直ぐに飛び立ったが、雷鳥も鳥、当然鳥目で夜間飛行は難しいはず、直ぐに羽ばたく音は止まったが、どこかの岩にぶつかったのではないかと心配になった一瞬だった。

しばらくしてから後からヘッドライトの明かりが近づいてくるのが見えた。「おはようございます」と挨拶をしながらすれ違おうと若い女性だった。こんな未明でもトレイルランをする人がいるとはさらにビックリだった。

白馬岳への道の凍てついた岩々（2013 年 10 月）



この日、天気は良かったが朝の気温が氷点下だったのと風も強かったので昼とは言え、岩の表面で凍ったままの水は太陽の光で岩を何かの宝石のように輝かせていた。

右方向に白馬岳（2932m）の山頂がある。

中景の山の尖り状の山が杓子岳（2812m）、その右の台形状の山が白馬鑓ヶ岳（2903m）、左側の遠景の山はおそらく五龍岳（2814m）だろう。

伊吹山の鹿の大移動（2019 年 10 月）



伊吹山（いぶきやま）は標高 1 3 7 7 m の山で滋賀県と岐阜県にまたがる山である。古事記や日本書紀にも記されている山でその歴史は古い。戦国時代の武将、織田信長が伊吹山に薬草を植えるように指示したともされている。岐阜県側からは 9 合目までドライブウェイが続いており、そこから山頂にも歩いていけるが、一般の登山道は琵琶湖側の上野地区から旧スキー場跡に沿った道を登っていく。登山道には何合目という表示があって登る際の目安になる。

この日は 3 合目あたりだったろうか森の中から女性の悲鳴のような甲高い声がいくつも聞こえて来た。今までに聞いたこともない声だった。登山者も多いので特に心配することなく、そのまま登っていくと六合目を過ぎた辺りだったろうか周囲の登山者から鹿！という声が聞こえてくる。指さす方をみると多数の鹿達が山頂方面に向って走っていた。写真は群れのごく一部なのでいかに多くの鹿が山頂へ目指していたかが分かるだろう。

ちなみに山頂は広く金網の塀で囲まれており、山頂へはそこに設置された扉を開けて入ることになる。山頂はお花畑で有名なので、鹿達に食い荒らされないための処置なのだろう。

【注意】

2 0 2 3 年に発生した土砂崩れのため、2 0 2 5 年時点では復旧工事のため登山道は当面立ち入りができなくなっているようです。登山する場合は状況を確認してからが望ましいでしょう。この土砂崩れも鹿が草木を食い荒らし山の地面が露出し山の保水力が低下したのも原因の一つとみられているようです。

対策の一環として鹿の駆除も含まれているようですが熊、猪、猿などへの対策も含め自然の中で生きる動物達との共存がいかに難しいかを考えさせられます。

箱根登山鉄道（2024 年 12 月）



箱根周遊コースはＪＲ小田原駅で箱根登山線に乗り換え箱根湯本駅までまず行く。そこからは急勾配になるので車両が短めの箱根登山線に乗り換えて途中スイッチバックを繰り返しながら強羅駅まで行く。途中には新春の箱根駅伝で走る道路との踏切もある。

さらに早雲山駅まで箱根登山ケーブルカーで行く。そこで再びゴンドラロープウェイに乗り換えて大涌谷駅に着く。そこでは噴煙の蒸気がおもてなしをしてくれる。また黒たまごのゆで卵も食べられる場所でもある。さらに先にもゴンドラロープウェイがあり桃源台港という芦ノ湖の港に下りていく。そこから遊覧船で芦ノ湖を渡り元箱根港まで行くと、バスで箱根湯本まで戻ることができる。

一々乗り換えで切符を買うのは手間なので、小田原駅で２日間有効の箱根フリーパスを利用するとお得で便利だ。

この写真は宮ノ下温泉郷が近くにある箱根登山線の途中駅「宮ノ下」駅に入線する電車。

彫刻の森美術館（2024 年 12 月）



箱根登山線の「彫刻の森」駅から徒歩 2 分程度でつく美術館。屋外に様々なモニュメントがおいてある。

はっきり言って何を意味しているのか分からない。

これも周囲の紅葉を受けて赤くなっているきれいな球体かと思い、またトムクルーズ主演の映画オブリビオンに出てくる球体のドローンみたいだと思って撮影してみたが、詳しく見ると球体の一部が破損して中味が見えているという私にとっては不可解なものだった。

昭和新山（2023 年 5 月）



昭和新山は北海道有珠（うす）郡壮瞥（そうべつ）町にある活火山。

1944年に始まった噴火活動で隆起し標高は現在398m。

当時から私有地であり、現在も立ち入りは禁止されている。

大学2年生の夏休みに一度見に来ているのだが記憶がかなり薄れていた。今回の見学で昭和新山の記憶は上書き保存されて大学時代の薄い記憶は完全消去されてしまうかもしれない。

この写真は向かい側にある有珠山（最高標高737m）にロープウェイを使って登り撮ったものである。有珠山も山頂付近はカルデラを形成しており、近くの洞爺湖もカルデラ湖である。また非常に大きな内浦湾も近くにあり噴火湾と呼ばれている。

この付近は2万年前から5万年前に起こった噴火によって形成された地形とされている。ここも噴火がいつ起こっても不思議ではないと言われてる。

日本列島は富士山等の活火山の噴火や大きな地震がいつ起こっても不思議ではないと言われているが、その「いつ」って、本当に「いつなの？」

MARUNOUCHI STREET PARK (2024 年 12 月)



久しぶりに東京へ行った際に、東京駅近くの丸の内通りで開かれていたイベント。
露天商…東京ではキッチンカーというものがいくつもでていた。

ここに集まっている人の多くは地元の人ではないかもしれないが、東京都への人口集中化は止まらず、それだけ税収も多い。だから地方では考えられないような税収の都民への住みやすさへの還元が行なわれ、ますます住みやすい首都への人口集中に拍車をかけている気がする。

これは東京都にとっては好循環だが日本全体としては悪循環ではないだろうか。

白池の黄紅葉（2015 年 11 月）



私の写真では良く出てくる新潟県糸魚川市にある戸倉山中腹にある白池の晩秋の風景になります。エメラルドグリーンのきれいな池面に映る黄紅葉になります。

ちなみにこの池はぐるりと一周できます。

雲ノ平山荘 (2015 年 9 月)



雲ノ平は黒部川の源流にある溶岩台地だが、実は富山市の一部である。標高は2500m～2700mあり日本最後の秘境と呼ばれように、たどり着くのは容易ではない。

写真は夕刻せまる雲ノ平山荘。窓ガラスに映り込んでいる山は水晶岳…のはず。

実はこの年からシルバーウィークが始まり、その初日はこの山小屋では一人一畳分があてがわれたが、明日以降はどこの山小屋へ行っても一畳に三人で寝なければならないと言われる。それは若い時にも経験した寝不足地獄の世界、若い時ですらそうなのだから高齢化した我が身にはその状況はかなり辛いだろう。

本当は三俣山荘から黒部五郎小屋などを巡ってゆっくりと登山する予定だったが急いで下山してしまったのであった。そして山小屋の主人の言うとおりに下山中に次々と登ってくる群れのような登山者達とすれ違うことになった。

惜しかったニャンニャンの日（2023 年 2 月 22 日）



牛岳温泉スキー場でクワットリフトを下りた場所にはこのようなウェルカムボードが設置されています。

この日は2月22日の2並びの日で2が5個。

1年前に来ていれば、2並びが6個揃ったはず。

これ以上に2が並ぶ日は2222年2月22日になります。実に200年後…

私は当然生きてはいませんが、その頃、我々の子孫の連中はどのような環境で生きているのでしょうか？

米山山頂へ（2013 年 5 月）



米山（よねやま）は新潟県にある山で標高は 993m。
北陸自動車道の上越市あたりから海側の方をみると三角形のきれいな山が見えるのが米山である。

この年はゴールデンウィークの 5 月 3 日に登ったが、山頂付近にはまだ雪が多く残っていた。

山頂には避難小屋があり、その向かいに薬師如来のお堂がある。

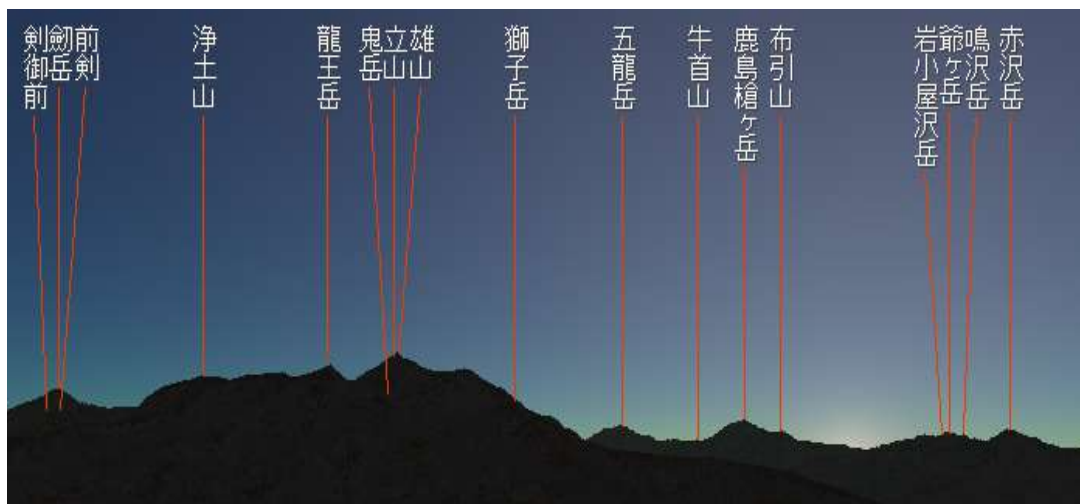
避難小屋は登山道からよく見えて景観を損ねるという人もいるようだ。
以前、テントを担いでその小屋に泊まるという人にあったことがある。山の楽しみ方は人それぞれで良いような気がする。

五色ヶ原・薬師岳縦走（2016年7月）



2016年の7月21日から23日にかけて立山室堂から薬師岳にかけて縦走をした。
1泊目は五色ヶ原山荘、2泊目は薬師岳山荘。
上記写真は五色ヶ原山荘をまだ暗い時間にヘッドライトをつけながら出発し、ようやく周辺が見え始めてきた頃。
来し方を振り返ると、昨日歩いてきた山や眼下に池塘や木道がかすかに見えていた。

カシ米尔3Dを利用した山座同定



霧の摩周湖（2017年10月）

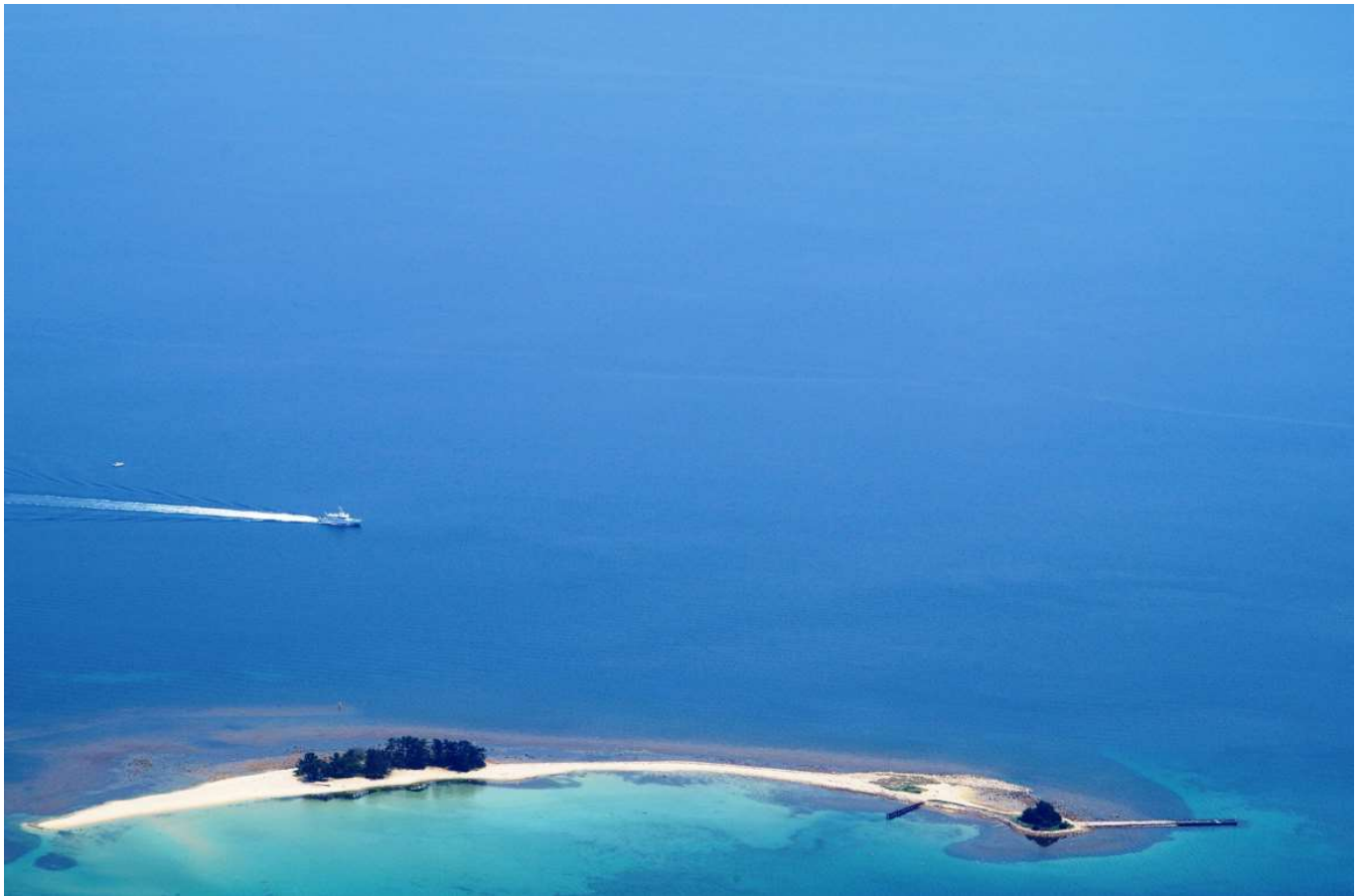


日本では最も透明度の高い湖だが、この日は霧に包まれてその透明度を知ることはできなかった。かつて布施明が「霧の摩周湖」を歌っていたがまさにその通りの風景だった。

この湖はカルデラ湖で最大の水深は211.5m、中央の島はカムイシュイ島と呼ばれる。カムイとは神の意味で使われるが古くは魔の意味でもあり恐ろしいという意味でも使われていたようです。

カムイシュイとは老婆の神という意味だそうです。

水島（2014 年 4 月）



水島は砂洲の一端が切れた福井県敦賀市の敦賀湾にある島である。夏は海水浴場にもなっているらしく往復する船用の栈橋が見える。

北陸地方にありながら、何となく南国のイメージを感じさせる島だ。

一時期、敦賀市にある低山の登山に凝っていたことがあり、その際に見つけた島で、この時は標高 685m の蝶螺が岳（サザエガダケ）の山頂付近から撮影した。

オンネトー（2008年6月）



オンネトーは北海道足寄（アショロ）町にある森の中にある静かな湖である。2回訪れているが、初めて来たのが2008年だった。透き通った湖面に沈んだ木と背景にある雌阿寒岳（左：標高1499m）と阿寒富士（右：標高1476m）が、とても印象的だった。

ちなみにオンネトーとはアイヌ語で「年老いた沼」もしくは「大きな沼」の意味があるそうだ。

頸城三山と白池（2012 年 11 月）

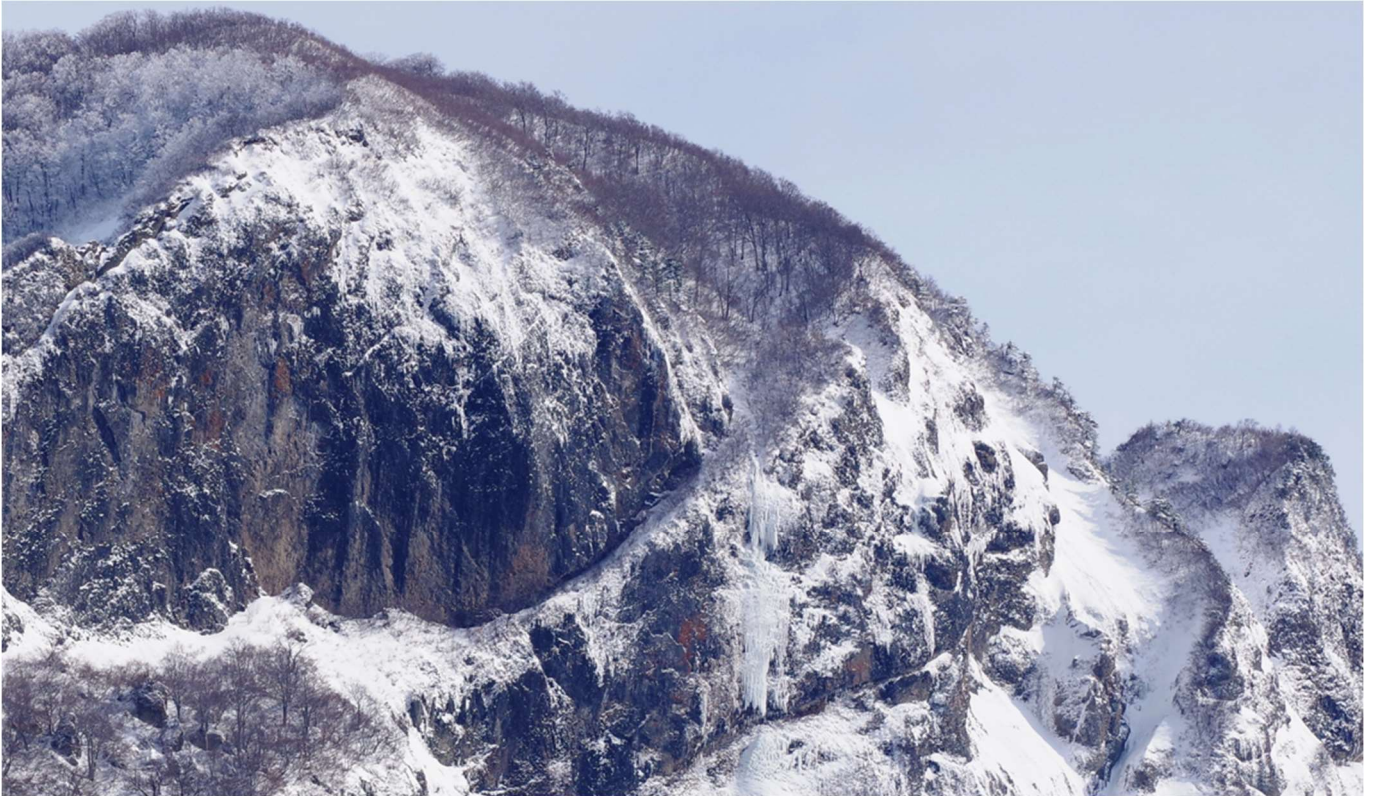


頸城三山とは、新潟県糸魚川市にある頸城駒ヶ岳（クビキコマガダケ）、鬼ヶ面山（オニガツラヤマ）、鋸山（ノコギリヤマ）「写真の左からの順」である。

私は頸城駒ヶ岳までは登ったことはあり、その山頂からも鬼ヶ面山に連なる道も見てはいたが厳しい登山道と聞いていたので、そこら先には行ったことはない。

白池は戸倉山山中にあるきれいな池で頸城三山やその右手にある雨飾山を映し出す。

頸城駒ヶ岳の氷瀑（2018 年 12 月）



新潟県糸魚川市にある戸倉山周辺を散策していた時にみた頸城駒ヶ岳の風景。
山仲間の一人がかつてこの山で氷瀑があるのをスキー場へ行く途中で車から見つけたと言っていたので確かめてみた。

夏山では何度か登っていたが、果たして本当にあるのか？

夏場の登山道は中央付近にある斜め右方向に徐々に急に上がっているところにあり岩壁の直下になる。そこを登り切ったあたりに実は小さな流れがある。

何故こんな標高で、かつ切り立った場所に水の流れがあるのか不思議な気分にはさせてくれる流れなのだが、そこを源流とするのか確かに凍った滝が氷柱のように幅広く下へと垂れ下がっていた（写真では右から43%、下から38%位の位置）。

駒ヶ岳という名前の山は全国にもあり富山県にもある。富山県人の登山家は糸魚川にある駒ヶ岳を意図的(?)に頸城地方にあるので頸城駒ヶ岳と呼ぶようだ。

札幌雪まつりのご当地アイドル（2019 年 2 月）



札幌の大通り公園にて毎年恒例で行なわれる札幌雪まつり。
雪まつりは雪像で有名だが、その他にも出店がでたり、スキージャンプやスノボージャンプなどのイベントが色々ある。

そのイベントの一つに彼女達のパフォーマンスがあった。短いステージ時間とはいえ、ミニスカートの生足で踊り歌ってくれたご当地アイドルたちでした。

この雪まつりの他にも、すすきの方面の路上では氷の彫刻がいくつも披露されていた。

荒菅沢の雪溪（2015 年 8 月）



長野県の小谷温泉側から雨飾山（標高 1 9 6 3 . 2 m）へ向う途中にある荒菅沢（アラスゲサワ）の雪溪。

この写真は 8 月 1 日だが年によっては雪溪がない時もあるので、この年の雪溪はかなり残っていた方になる。

登山道は左方向から右方向に向い、右側の岸にたどり着くとすぐに急登が始まる。

頸城駒ヶ岳の岩壁（2015 年 7 月）



新潟県糸魚川市にある駒ヶ岳、様々な地方に同名の山があるので、この山は頸城駒ヶ岳とも呼ばれる。標高 1 4 8 7 . 4 m の山だが、その特徴はなんといってもこの岩壁である。見上げるとクラクラしそうな感じになる。

もちろんこの壁をよじ登るわけではないがこの岩壁の下に登山道が横切っているので、そこを歩かねばならない。

これまで上から岩が落ちてきて死亡したという話は聞いていないが、いち早く通り抜きたい場所ではある。

ワイドビューひだ（2018 年 12 月）



富山と名古屋を結ぶ高山線のディーゼル特急ワイドビュー「ひだ」。
高山線は本州中部の山間を横断する乗り鉄にはたまらないコースである。
私はいわゆる乗り鉄では無いと思っていたが、北海道網走駅から富山駅まで鉄路を乗り継いだことが2回あるため次第に乗り鉄ではないかと自覚しはじめている。
2024年3月に自動車免許証を自主返納してからは乗り鉄度が増しているという自覚もある。写真は2018年12月に富山市の呉羽丘陵から見た雪の町中を走る特急「ひだ」。

ちなみにこの電車は左方向の富山駅に向かって走っている。

雨飾山の遠景（2021 年 3 月）



新潟県糸魚川市にあるシーサイドバレースキー場からみる雨飾山の遠景。
2020年のこのスキー場は雪不足で営業できなかったが、翌年はなんとか営業ができるくらい
の雪があった。

このスキー場は緩斜面の長いコースが多く、私のような高齢者には格好のスキー場で毎年訪
れていた。

雨飾山や頸城三山が眺望できる私の好きなスキー場でもある。

2月の富山市内風景（2021年2月）



富山市内にある呉羽丘陵から市街地方向を撮る。

2月半ばの富山市街はまだ雪の中、そして立山連峰は霞の中で山頂付近は映りこまない位に高い。

この写真を撮影した丘陵の最高が標高145mの城山の標高145mですが、積雪時には立派な冬山になりカンジキハイクが楽しめる山になります。

しかし、最近の暖かさで富山市内は駐車場の一角を除いて雪は消えてしまいました。

劔岳遠景（2021年2月）



先日、山仲間と二人で標高446mの城ヶ平山（富山県上市町）に登った時に正面に見えた劔岳（2999m）。ごく普通の曇り空バックの写真ですが、やや左中央から伸びる尾根は早月尾根という山頂までの長い長い尾根で冬山の劔岳を目指す登山者達の通る道になります（雪が溶けると夏道も現れます）。

私は若いころの夏場にこの早月尾根を12時間かけて往復したことがありました。この日同行した男性もかつて私が日帰りをした笠ヶ岳、薬師岳、劔岳を複数回日帰り登山していましたが、さすがに最近はそのまでの体力はないようです。

右は1988年9月に富山を暗い内にバイクで出発し登山口近くまで行きAM5:50に登り始め、笠ヶ岳山頂(2898m)にAM10:57に着いた写真。丁度その頃職場の同僚が日帰りで劔岳山頂にいた。帰りは雨の中をバイクで帰る羽目になり富山に着くと暗くなっていた。今で言う弾丸登山かな？



日帰り劔岳（1992年8月末）



最初に劔岳に登ったのは1987年で、当時の職場の後輩の2人で室堂から入り劔沢の小屋で一泊してから登頂したが、4年前に職場の同僚が劔岳を日帰りしたというので自分も挑戦することにした。

この年は馬場島で前夜車中泊をして、翌早朝の4時過ぎに1人でひたすら早月尾根を登った。途中、ひどそうに息を切らして登ってくる若者が私を追い抜いていく。「足が攣りそうだ」と言いながらも登っていく。感心しながら見ていたが自分も頑張らねばと足を運ばせる。

そして何とか山頂にたどり着く。劔沢からのコースと較べるとリスクな場所はあるにはあるが少ない印象だった。

帰りは下る一方だと思っていたが、途中で遠くから雷が鳴り出して急ぎ足で途中まで下った記憶がある。雨には遭わなかったものの雷は怖い。

馬場島に到着したのは丁度出発してから12時間後だった。

この写真の劔岳山頂の祠も今では建て替えられ周囲は岩で覆われている最近の写真を見た。

※当時はフィルムカメラでその印画紙写真をスキャンしたのでデジタル写真よりも画質が粗くなっています。

牛岳温泉スキー場（2021 年 1 月）



昨年は休業が相次いだ富山県内のスキー場ですが、今年はがっつりと雪がふりました。このスキー場は富山市の旧山田村地区にあるスキー場で近くには温泉もあります。晴れると富山湾までのビューがたまりません。ここも緩斜面のみで私には格好のスキー場になります。

昔は、この背面には谷をはさんだ牛岳の第二スキー場もありケーブルカーで往復ができました。そのスキー場のゲレンデは上下3つに分かれており、一番上は雪面が整備されない新雪状態で私には滑るのに難儀した覚えがあります。一番下には食堂もあり、まずくは無いのですが美味くもない大盛りのカレーライスを食べた記憶があります。

スキー客の減少のせいか、今では奥のスキー場は廃止されケーブルカーも取り外され駅舎跡のみが残されています。

さらにこのゲレンデの上や下にもレストハウスがあったのですがすでに営業されておらず休憩場になっており食事する場所が極端に減っています。1日滑るなら食料持参が基本のスキー場になっています。

ちなみにナイトースキーはずっとやっており、旧職場の大学病院から30分程度で来られるので仕事終わりにナイトースキーをしたこともありました。

足長じいさん（2020 年 10 月）



10月の初め。薬師岳山荘に宿泊して薬師岳を周遊した帰りの薬師岳山荘から下って10分程度の傾斜も緩やかで広めの場所にて（通称、薬師の肩）。

背後から朝日が射していたので、足の長くなった自分の姿を撮ってみた。

小椋佳（2020年3月公開分）



47年前（ニュースの公開時から）、18歳の丁度今頃の季節。

大学の合格発表もおわり、大学入学までの人生で最もゆったりと感じた春の日々を私は受験勉強時期には聴かないようにしていたLPレコードをたっぷりと聴きながら過ごしていた。

その中でも、小椋佳の2枚組アルバム「少しは私に愛を下さい」は何度も聴いた。

俳優の小倉一郎と秋谷陽子の二人のスナッフ写真とナレーション、その後から小椋佳と数理美子の唄が聞こえてくる青春をテーマにした、今にして思えば相当に青臭いアルバムだ。

最近レコードプレーヤーを新しく購入して断捨離を免れたLPレコードたちを聴いている。

今年の春が65歳になる方々も多いと思いますが、頑張りましょう！

※なぜ65歳の人へのアピールをしたのか記憶が無いのですが、断捨離の過程でこのLPアルバムを見つけたためでしょう。

熊のマー君（2019 年 10 月）



富山市には富山市ファミリーパークという遊園地を併設した動物園があります。
そこで飼われているツキノワグマです。

通称、マー君とか。山では決して会いたくないですね。

某クリニックの裏通り（2025 年 2 月）



患者さんにとっては診察室の裏通りになりますが医療関係者にはメイン通りになります。この奥の部屋にはレントゲン、内視鏡、リハビリの装置や器具などが揃っていました。

県外に住む私の弟は元々、消化器外科の医師で長年病院に勤務していましたが、最近先輩医師のこのクリニックを引き継ぎ、本人曰く内科から簡単な外科的処置までこなす「なんでも屋の医師になった」と言っていました。

これまでは彼の勤務先の病院の外観を見る程度でしたが、先日初めて職場内を見せてもらい改めて弟が本当に医師だったのだと実感しました。

（個人情報が入り込んでいるかもしれないので画面は不明瞭にしています）

夜の新千歳空港（2025 年 5 月）



北海道の新千歳空港での一コマ（午後7時半ごろ）。

空港にはエアターミナルホテルがあり部屋によっては飛行機の離発着風景を見られる。この部屋からはJALの飛行機の到着と出発時の準備風景と離発着風景を見ることができた。

最近まで知らなかったが新千歳空港の4階には大浴場があり、このホテルに泊まると無料で利用できる。泊まったのはゴールデンウィークの最終日の6日だったので当日の飛行場の混み具合はかなりのものだったらしい。私は翌日の飛行機だったので大浴場にも入り、ゆったりと過ごせた。

通常はせわしくなく新千歳空港を利用しがちだが、余裕があればホテル利用でゆっくりと過ごすのも楽しい。